



マナーを守って安全運転を

放置自転車等防止対策のため、7月4日に本町交差点周辺地域で啓発活動が行われました。

放置自転車への警告書貼付のほか、自転車運転者へはリーフレットの配布と声かけを行い、安全運転を促していました。



ゴミのない海岸にしましょう

7月6日、函館海岸で清掃美化活動が行われ、約1,000人のボランティアが参加しました。

参加者は、砂浜にポイ捨てされた空き缶などを丁寧に拾い、集まったゴミの量ときれいになった海岸を見て、達成感を感じているようでした。

フォトギャラリー



市内で行われた行事やイベントなどを写真で紹介します



楽しいあそびがいっぱい

7月6日、サン・リフレ函館で、ちびっこあそびの広場が開催されました。「ちびっこ夏休み」や「縁日ごっこ」などさまざまなコーナーが設けられた会場では、お気に入りの遊び場を見つけながら楽しむ親子の笑顔があふれていました。



考えよう！私たちの未来の食卓

7月15日、まちづくりセンターで国際科学祭プレイベント・2050年委員会が開催されました。

テーマは未来の食卓。参加者は「調理が必要なくなる」「個人の好みを考慮した食べ合わせ検索ソフトの開発」などアイデアを出し合っていました。

～町会・自治会に加入しましょう～ 支え合う人がいるから このまちは 豊かなひかり 魅力あるまち

観光リレーエッセイ～おもてなしの心をはぐくむ～

No.3

「おもてなしを意識する」

函館市観光アドバイザー会議 委員 中野 晋氏

北海道観光のピークは、バブル景気の時代。ジェット機の普及や青函トンネル開通などが弾みとなり、観光客数が急激に増加し、当時の観光業界では「おもてなし」どころではなく、お客様を「さばく」のが精一杯だったほど忙しかった。その頃の北海道の評価は、「自然は一流、施設は二流、食事は三流、サービス四流、意識は五流」と不名誉なものだった。時は変わり新幹線開業が目前となった今、さて皆さんの「意識」はいかがでしょうか？

市民の高い意識で、感動や知的充足感を訪れる人々に提供できたら、と願っています。

人口と世帯

世帯数

144,059世帯(29増)

人口

総数 275,619人(84減)

男性 125,770人(18減)

女性 149,849人(66減)

平成25年6月末現在
()内は前月比